

広報 えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市国分155
☎(0462) 31・2111

世帯と人口
昭和61年5月1日現在
世帯 29,595世帯 (+448)
人口 94,867人 (+754)
男 48,824人 女 46,043人

毎月1日・15日発行

相模川にアユの銀鱗

アユ放流212万匹

六月一日、相模川のアユが解禁になりました。去年は天然のアユが少なくてファンをがっかりさせたが、今年は天然も例年並み、市沿岸を管理している相模川第二漁業協同組合海老名支部の岡部好直支部長は「今年のアユは期待が持てる」と話しています。同組合では資源保護のため、アユの稚魚二百二十万匹を放流したり、標識を付けたアユを放流するほか、釣って楽しく食べるとおいしいベヘレイやテラピアを去年の七月に試験的に放流しています。相模川の釣りは、ますますおもしろくなっています。一度ご家族で相模川に出かけ、釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

6月1日解禁

ですが、現場で求める場合は料金追加されるので、事前に求める方がお得です。
五月二十二日、相模川漁業協同組合でアユの試し釣りを午前九時から一時にかけて十人が約三百匹釣りあげました。

試し釣りが良好

標識には、一から三百までの番号がふられ、アユがどの様に移動するか、どのくらい育っているか、どのくらい釣られて川に残るのどのくらいかを調べます。
この標識の付いたアユを捕った人は、別の生きアユ二匹の交換のほか「相模川魚たち」(神奈川県新聞社刊)などの記念品が

標識アユで温泉へ

五月二十五日、相模川第二漁業協同組合で、アユの青ビシに黄色いリボン製のリボン



大公望はアユ解禁の6月1日を待ちに待った (去年の相模川アユ解禁)



アルゼンチン産のベヘレイ

ベヘレイは、果淡水魚増殖試験場がアルゼンチンから卵を移入し養殖したものです。外形はキスに似て細長く成魚になると三十センチに成長します。味は淡白で焼いても刺し身にしても食べられます。
テラピアは、アフリカ原産で水温の高いところにすむ淡水魚で、黒ダイヤに似て刺し身にするのにおいしく、成魚になると二十センチになります。組合で成長状況の調査をしています。つり上げた場合は同組合が監視員に連絡してあげてください。

ベヘレイ、テラピアを放流



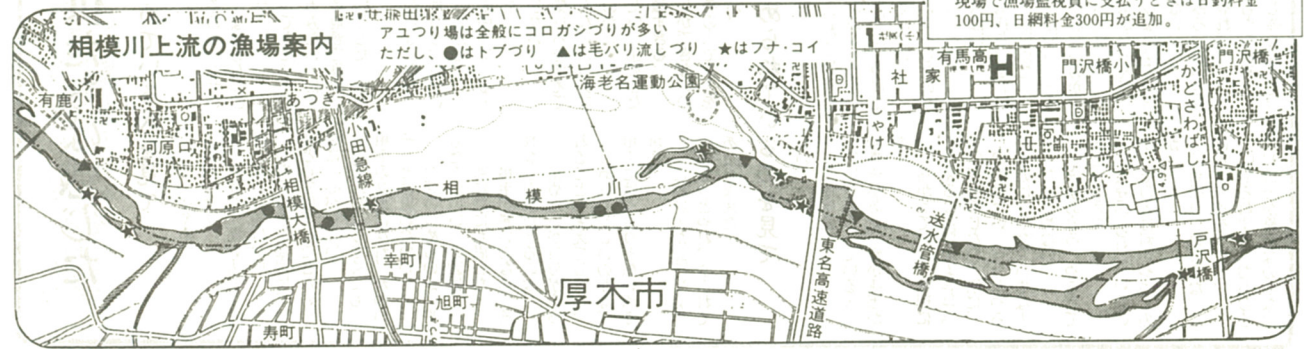
アフリカ原産のテラピア

相模川第二漁業協同組合は、去年の七月、ベヘレイとテラピアを試験的に放流しました。寒川せきが築造されてから年々相模川の下流域の川床が下がり、アユの育ちが悪くなってきたため、これに代わるものとして放流されました。

釣り具店での遊漁券価格

年釣券	5,000円	日網券	2,500円
日釣券	600円	年網券	15,000円
雑魚券	400円	中学生	日釣・雑魚半額

現場で漁場監視員に支払うときは日釣料金100円、日網料金300円が追加。





友情は豊かな人間性を育てます

いじめを



休み時間に集中

高学年で減少へ

「いじめ」は減少傾向にあるが、高学年になると「いじめ」の被害に遭っている児童が減少している。

小学校四年生八五%、五年生七五%、六年生六五%、中学生に入り一五%、二年五四%と「いじめ」が減少傾向にある。

「仲間はずれ」は最も身近な遊び友達の子に「仲間はずれ」にされる原因が本人にある場合が多い。

理由は…わからない?

「いじめられた」といって泣く子供は、いじめられた理由がわからないことが多い。

「仲間はずれ」の理由を説明する。本人の身体的特徴や性格、行動面などが多い。



「いじめられた」といって泣く子供は、いじめられた理由がわからないことが多い。

どないいじめられかたをされたか

年齢	性別	仲間はずれ	暴力	無視	悪口	その他
小学生	男子	16%	35%	11%	26%	7%
	女子	31%	12%	15%	29%	6%
中学生	男子	12%	32%	16%	26%	8%
	女子	25%	10%	22%	31%	7%

市史を 訪ねて 海老名の坂② 石名坂

上今泉三丁目、海老名の坂(石名坂)の中央付近の穴か土事中、一振り短刀の産品を露出した。これは、石名坂の歴史を物語る貴重な発見である。

なぜするのだろう

態様とその背景



指導の目は、子供たちの生活が健康で楽しいものであるようにと...

いじめられた15%

2年かけ調査

子供社会の中に現れている「いじめ」は、家庭、学校、社会などで大きな関心事となっています。

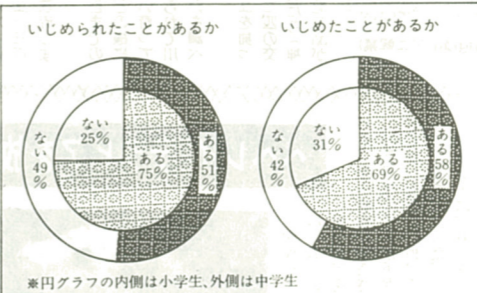
市教育センターの調査部門である教育調査委員会(田所 義高委員長、七人は、五十九、六十年度の二カ年度にわたって「いじめ」の態様とその背景について調査しました。



調査の方法

調査は六十年六月十七日に行われ、対象者は小学校十三校中七校の四年生二百三十二人、五年生二百五十七人、六年生三百七十八人の合計七百六十一人と中学校全校中、一年生百六十四人、二年生百六十九人、三年生百六十八人の合計五百一人を抽出して行われた。

調査の目的は、市内小・中学校生の実態を明らかにし、いじめの態様を明らかにすること、その背景を明らかにすること、原因を明らかにすること、今後の児童、生徒指導の手がかりにすることである。



※円グラフの内側は小学生、外側は中学生

調査で高い比率を示す

調査の結果は、いじめの有無の問いに対して、小学生の七五%、中学生の五一%が「いじめられたことがある」と答えています。

いじめられている人を見て

「いじめられている人を見て」小学生、中学生の意見。小学生は「馬鹿だ、悪い人だ、くたない、情けない」と答える。

子供たちは感じた

子供たちが感じたこと。小学生は「早くおわりたくない、早く帰りたい」と答える。中学生は「馬鹿だ、悪い人だ、くたない、情けない」と答える。

フォトピックス



史跡目指してスタート

史跡巡りでいい汗
海老名でウォークラリー
クイズを解きながら自然や史跡を探索する「第三回全国一斉

ウォークラリー神奈川大会」が五月十八日、海老名会場を含む県内五会場で行われた。同大会は、日本レクリエーション協会などが主催するもので、県内では約千八百人が、また、海老名会場の出発地である海老名中央公園には約二百人が集い、チームは、三十八人の家族連れなど編成され、午前十時に順次スタートした。

コースは、市内の史跡を巡る九・五キロ、途中十二のポイントには場所ごちなんだ設問が出された。例えば、国分の相模国分寺では「薬師堂の梵鐘(ほんしよ)」の直径は「」の問題に「持つてきて正解」と、巻尺を取り出す用意周到なお父さんも。

このモデル地区指定は、市消防署分署で開かれた有馬地区青少年健全育成連絡協議会(略称「青健康、宮台松治会長)の総会で発表され、席上、青健康委員会が兼任するモデル地区推進委員会を発足させ、同会に西村清紀(座間警察署長)から委嘱状が



委嘱状を受ける宮台会長(左)

手渡された。宮台会長は、「青少年の非行化は大に多く責任がある。推進委員会を中心に数々の運動にご協力を」と、約百人の列席者に訴え、非行ゼロの環境づくりを再確認した。同地区青健康委員は、今後、環境浄化のための立看板作りなどを計画している。



楽しいゲームで1日を…(中新田小)

非行0を目標に
有馬がモデル地区に指定
非行防止に関する各種運動、催して実績のある有馬地区が、五月九日、座間警察から「青少年を非行から守るモデル地区」に指定された。

一緒に楽しんだ
老人母子運動会
県央福祉合同体育大会
ゲームを通して、市内のお年寄りと母子家庭の親子が親睦と交流を深める「老人母子運動会」が五月十八日、中新田小学校で開かれ、約七百五十人が参加した。同運動会は、今回で十五回目

で、市老人クラブ連合会と母子会を中心とする「楽苗会」の会員を中心に毎年五月に行われている。開会式に引き続き、午前九時半からゲームが行われ、パン食の競争、鈴割りなどの十三種目が開かれた。また同日、上河内の富士コカ・コーラグラウンドでは「第十二回県央福祉合同体育大会」が開かれた。この体育大会は、県央地区福祉連絡協議会が主催したもので、

頭張れイヤッ!
(コカ・コーラグラウンド)

みなさんの声

投書は 秘書広報課へ



新聞勧誘に一言

海老名市に引越して約半年になりますが、新聞の勧誘のひとつには、あきれ返っております。

「町内の者ですが」「お届けの者です」など、あいまいな言い方でドアを叩き、しつこく勧誘をします。もちろん、礼儀正しく勧誘をする方もいらっしゃいますが、ほんのわずかで、あまりの勧誘の多さと悪質さに、本当に用事のある方がいらっしやっても、ま

た、勧誘かしら。と、ドアを叩いていいものかどうかが判断に困ることがあります。なんとかありませんしょうか。

困分 畑田 敏子

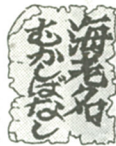


昔話

明治の初め、植田左兵衛という人が中河内で寺小屋を開き、近隣の子供たちを集めて星漢学(漢文)や習字を教えていた。左兵衛は、もとは江戸住まいの幕臣で、妻が病気で亡くなった後、当時中河内から植田家に奉公に来ていた女性を後継いにしたが、明治維新で禄を失ったため、妻の出身地である中河内に移り住んだのである。左兵衛は教養があり、また徳も高い人だったので、周囲の人々からは「お師匠さん」と呼ばれ慕われていた。

明治十四年十一月十八日、左兵衛は八十一歳で亡くなった。氏と後継の妻との間には一人の子供がいたが、晩婚だったため後に残された子供はまだ幼く、母親が日夜、田畑で懸命に働いても、その収入だけでは一家三人の生活はかなり苦しいものだった。

そのため、長女のみちせもんは、母と幼い弟のため五歳の子を連れて、長女のみちせもんは、母と幼い弟のため五歳の子を連れて、



有馬小学校の門柱

技術を習得するため、意を決して上京した。元来、努力家のみちせもんは苦勞に苦勞を重ねた末、やがて都内にrippな整骨院を開くまでに至った。大正四年、父の命日に、みちせもんは植田家の墓がある吉祥寺で父母の供養を行ったが、このとき、中河内全戸に当時として

てはたいへん高価な輸入りの生和菓子の引出物を配り、寺には御手洗(参詣のとき身心を清めるため本堂前に設置されている手洗い場)を寄進し、また、いままでの墓石とは別に、当日新たに父の戒名を刻んだりrippな墓石も建てた。この法要には左兵衛のかつての門下生も参列し、亡き先生の



寄贈された門柱

海老名むかしむかし
☎33・3838
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
6月2日～6月15日 第24話 比呂尻坂の大ガマ
6月16日～6月29日 第25話 上打越の大ガマ

学びたくても十分学べないので、きかなかった自らの幼少を思い出しての寄贈であらう。みちせもんは、昭和二十年三月の東京大空襲で負傷し、二十一年に七十歳で亡くなった。有馬小学校正門にある門柱は、現在も多くの児童を見守っているが、時代の流れとともにみちせもんさんの業績は忘れ去られようとしている。

(中河内 宇田 浩)